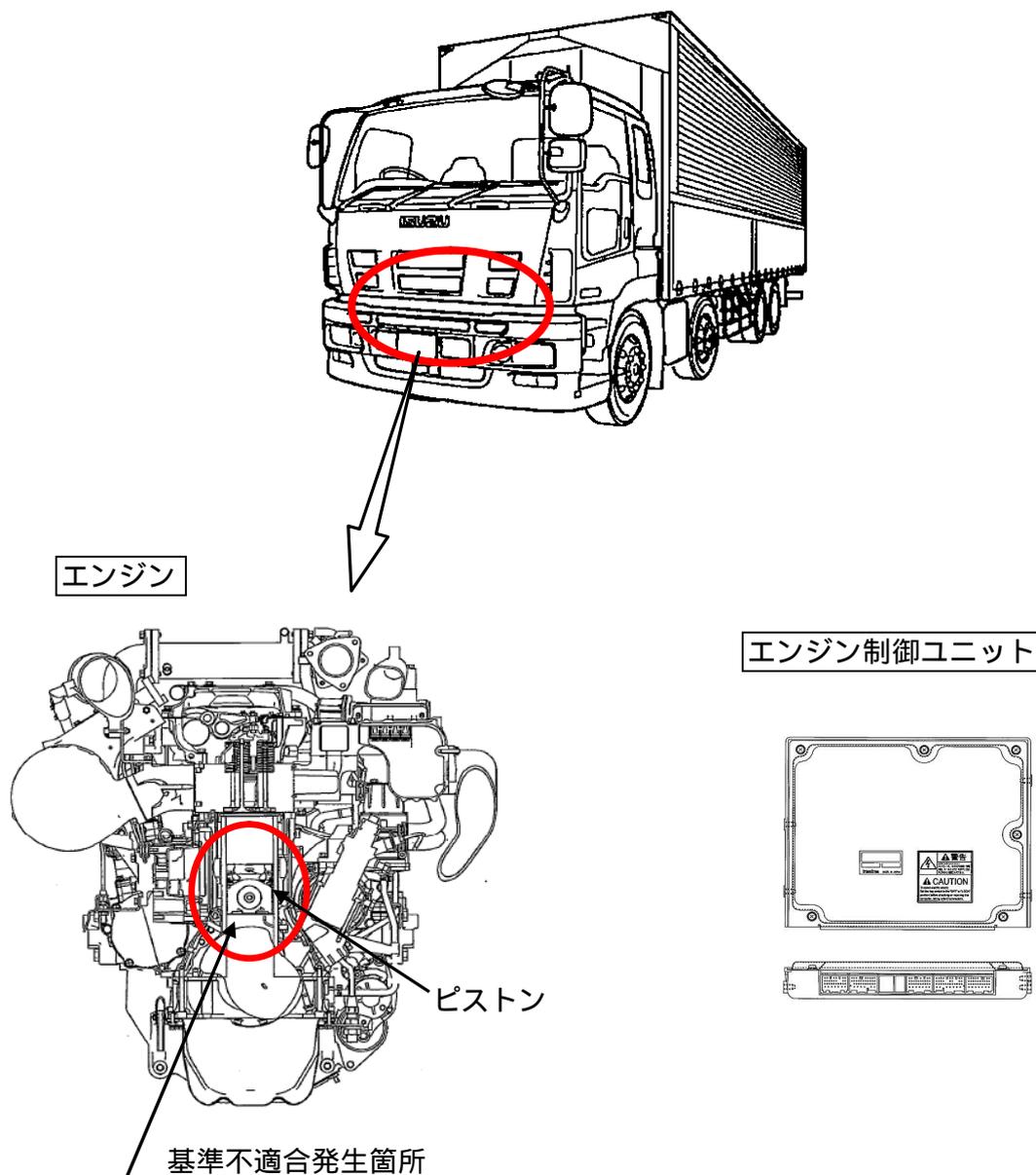


改善箇所説明図



大型トラック用エンジンにおいて、冷却水温度が高温の時の燃料噴射制御プログラムが不適切なため、ピストンの温度が高くなり、ピストンに過大な負荷がかかることがある。そのため、高水温状態で繰り返し使用すると、ピストンに亀裂が生じ、穴が開き、エンジン出力の低下及び白煙を排出し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。

改善の内容：
全車両、エンジン制御プログラムを書き換える。また、エンジンを点検し、異音または白煙排出が見られるものは、エンジンを交換する。

識別： 助手席側ドアストライカー付近に青色の識別シールを貼付する。

注： は措置する部品を示す。